

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-9618(P2009-9618A)

【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2007-167269(P2007-167269)

【国際特許分類】

G 11 B 7/0045 (2006.01)

G 11 B 7/135 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/0045 Z

G 11 B 7/135 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

照射する光強度に応じて屈折率が変質する記録材料からなり、既に屈折率が変質している変質層と、屈折率が未だ変質していない非変質層と、が交互に複数存在する多層化された光情報記録媒体に対して、情報を記録する情報記録装置であって、

所定の波長を有する記録光を射出する光源と、

前記光源から射出した前記記録光の焦点位置を制御する焦点位置制御部と、

前記焦点位置制御部の後段に配置され、前記記録光を集光する対物レンズと、
を備え、

前記記録光により前記焦点位置における前記記録材料の屈折率を変質させて、情報を記録マークとして前記光情報記録媒体に記録する、情報記録装置。

【請求項2】

前記記録光の焦点深度は、前記変質層及び／又は前記非変質層の厚み以上である、請求項1に記載の情報記録装置。

【請求項3】

前記焦点位置制御部は、前記記録光の焦点位置を、前記非変質層が存在する位置となるように制御し、

前記記録光は、前記非変質層における前記記録材料の屈折率を変質させて、前記記録マークを記録する、請求項2に記載の情報記録装置。

【請求項4】

前記焦点位置制御部は、前記記録光の焦点位置を、前記変質層が存在する位置となるように制御し、

前記記録光は、前記変質層における前記記録材料の屈折率を変質させて、前記記録マークを記録する、請求項2に記載の情報記録装置。

【請求項5】

前記光情報記録媒体は、2本の初期化光線により初期化され、

前記2本の初期化光線の一方は、前記光情報記録媒体の一側の平面から当該光情報記録媒体へと入射し、

前記 2 本の初期化光線の他方は、前記光情報記録媒体の他側の平面から当該光情報記録媒体へと入射する、請求項 1 に記載の情報記録装置。

【請求項 6】

前記 2 本の初期化光線の前記光情報記録媒体の平面に対する入射角度の大きさは、等しいことを特徴とする、請求項 5 に記載の情報記録装置。

【請求項 7】

前記変質層および前記非変質層の厚みが D [nm] となるように波長 [nm] の前記初期化光線を用いて初期化が行われ、

前記 2 本の初期化光線の入射角度 θ は、以下の式 1 から得られる値である、請求項 6 に記載の情報記録装置。

【数 1】

$$\theta = \sin^{-1} \left(\frac{\lambda}{2\Delta D} \right) \quad \dots \text{ (式 1)}$$

【請求項 8】

前記初期化光線は、平行光線である、請求項 1 に記載の情報記録装置。

【請求項 9】

前記初期化光線のビーム径は、前記記録材料を全面照射可能である大きさを有する、請求項 1 に記載の情報記録装置。

【請求項 10】

照射する光強度に応じて屈折率が変質する記録材料からなり、既に屈折率が変質している変質層と、屈折率が未だ変質していない非変質層と、が交互に複数存在しており、情報が前記変質層または前記非変質層に前記屈折率の変化を伴う記録マークとして記録されている光情報記録媒体から、記録されている前記記録マークを読み取って再生する、情報再生装置であつて、

所定の波長を有する読み出し光を射出する光源と、
前記光源から射出した前記読み出し光の焦点位置を制御する焦点位置制御部と、
前記焦点位置制御部の後段に配置され、前記読み出し光を集光する対物レンズと、
前記記録マークからの前記読み出し光に応じた戻り光を検出する光検出部と、
を備える、情報再生装置。

【請求項 11】

前記読み出し光の焦点深度は、前記変質層及び / 又は前記非変質層の厚み以上である、請求項 10 に記載の情報再生装置。

【請求項 12】

前記読み出し光の波長は、前記記録マークの記録に用いられた記録光の波長と同一である、請求項 10 に記載の情報再生装置。

【請求項 13】

前記読み出し光の波長は、前記記録マークの記録に用いられた記録光の波長に対する前記記録材料の感度と比較して、感度が小さい波長である、請求項 10 に記載の情報再生装置。

【請求項 14】

前記焦点位置制御部は、前記読み出し光の焦点位置を、前記非変質層が存在する位置となるように制御し、

前記検出部は、前記非変質層における前記記録マークからの戻り光を検出する、請求項 11 に記載の情報再生装置。

【請求項 15】

前記焦点位置制御部は、前記読み出し光の焦点位置を、前記変質層が存在する位置となるように制御し、

前記検出部は、前記変質層における前記記録マークからの戻り光を検出する、請求項 11 に記載の情報再生装置。

【請求項 1 6】

照射する光強度に応じて屈折率が変質する記録材料からなり、既に屈折率が変質している变質層と、屈折率が未だ変質していない非变質層と、が交互に複数存在する多層化された光情報記録媒体に対して、情報を記録する情報記録方法であって、

光源から射出した所定の波長を有する記録光について、当該記録光の焦点位置を制御して、前記光情報記録媒体の所定の層に前記記録光を照射するステップと、

前記記録光が照射された前記所定の層における前記記録材料の屈折率を変質させ、情報を、屈折率の変化を伴う記録マークとして記録するステップと、
を含む、情報記録方法。

【請求項 1 7】

照射する光強度に応じて屈折率が変質する記録材料からなり、既に屈折率が変質している变質層と、屈折率が未だ変質していない非变質層と、が交互に複数存在しており、情報が前記变質層または前記非变質層に前記屈折率の変化を伴う記録マークとして記録されている光情報記録媒体から、記録されている前記記録マークを読み取って再生する、情報再生方法であって、

光源から射出した所定の波長を有する読み出し光について、当該読み出し光の焦点位置を制御して、前記光情報記録媒体の所定の層における前記記録マークに対して前記読み出し光を照射するステップと、

前記記録マークからの前記読み出し光の戻り光を検出するステップと、
検出した前記戻り光に基づいて前記情報の再生信号を生成するステップと、
を含む、情報再生方法。

【請求項 1 8】

照射する光強度に応じて屈折率が変質する記録材料からなる、多層化された光情報記録媒体であって、

既に屈折率が変質している变質層と、
屈折率が未だ変質していない非变質層と、
が交互に複数存在し、

情報が、前記变質層または前記非变質層に前記屈折率の変化を伴う記録マークとして記録されており、

前記变質層または前記非变質層に記録された前記記録マークは、当該記録マークに隣接する前記非变質層または前記变質層に接している、光情報記録媒体。